



バンドを やってる 友だち。

2009.08.23

circle : chapter22

author : 高野雀

site URL :

<http://blog.livedoor.jp/chapter22/>







くだらない奴ら、
みんなまとめてしねよ。



えー
マジでー

マジで
マジで。



あの協調性の
なさは、駄目
すぎっしょ？

アハハ

それは、



お前が
下らなす味
からだろ



あいつ全然
空気読めねー
からさー

致命傷
だよー

プロジェクトは
お前ひとりの
もんじゃねー
つうのな！



マジでー

マジです。



この日
俺休みてーん
だよー

あ、



僕もその日
無理です。



店長
気どりかよ

てめーも
バイトだろ

クソくだらねえ

やっべーな
その日！



ま！
なんとか
するわ！

ハイハイ。
お疲れっす

ほんやくにくだらねえ。



労働なんて
生活するた
めだけのもんじゃ
ねえか

何必死に
なってるんだよ



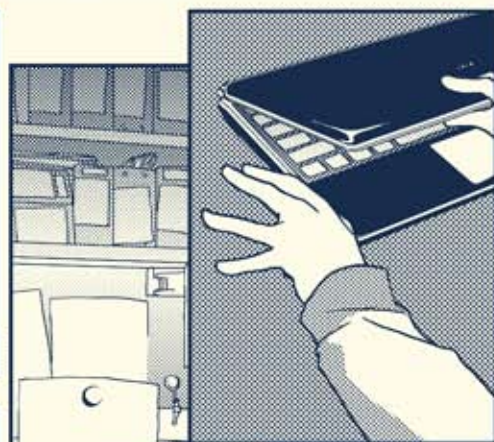
今、空いてるから休憩行っておいで

は。



遠藤君

そして、俺こそが俺の世界の王様だ。



あんま再生数上げてねえなあ

てんで世の中は不条理だ



バンドは一人が走つても意味ねんだよ

リズム隊なんだから全員のプレイ流れ読めよ

くだらねえ



本当にくだらねえ

お前らの流れなんか読んでらんねーよ



下らない奴らに無理して迎合するくらいなら

独りで構うもんか

これは

世界を刺すことが出来る音楽なんだ





誰の評価にも
左右されない



おぎんげ。

遠藤さんで
自由ですね。

ちょっと
ごめん。

まただ。



はい、
遠藤です

落ち着け
落ち着け。

俺はゆらがない

あー
えんどーくん？



こないだの
ライブ
よかったよー

ああ、
ありがとう…

今度
イベント
やっから
顔出してよ

そうですね…

知り合い
かよ



バンドマンは
なれあいも
お仕事のうち

そんな
くだらない馴れ合い
俺はまっぴらだけど

やべ、
携帯入れた
まんまだった

すみません、

俺は



俺がゆらゆらなんてありえない。



あつたんだ…

ま、まあね



なんかいいことあつたんすか



じゃあお先です！



なのはどうして笑顔が止まらないんだ

クソが！



俺はどんなところで浮かれたりしない

なの



これは、ライブとかもやるのかな？

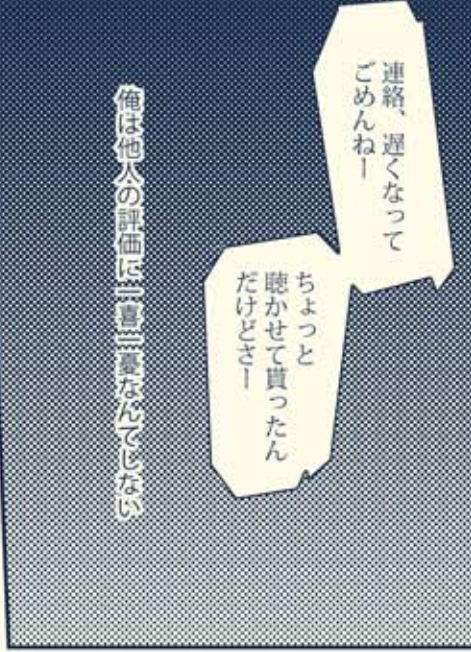
や、やります！

だって俺は

俺は評価されるべき人間だからだ

じゃーよかった今度のイベントにちよつと出てみてほしーんだよね

はい！



連絡、遅くなってごめんね！

ちよつと聴かせて貰ったんだけどさ！

俺は他人の評価に二喜三喜なんてしない



えーっとどこまでやったか…

あ！それもういいですよ！

えーっと



もう時間です。

マジで！

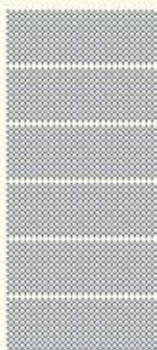


あ、遠藤さん早かったっすね

なのに、

えんどーさん？

なのになんて俺はどんなにドキドキしてるんだ

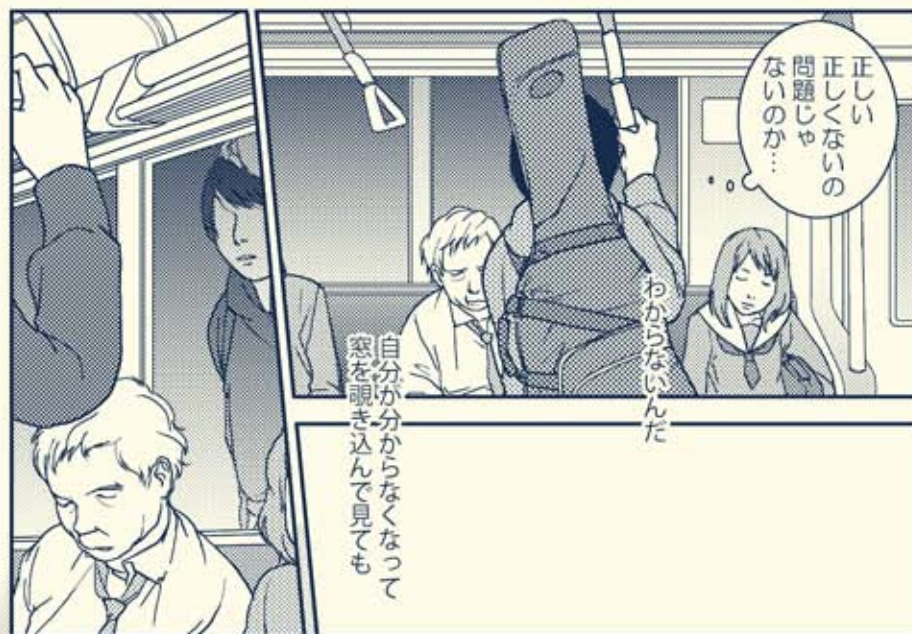
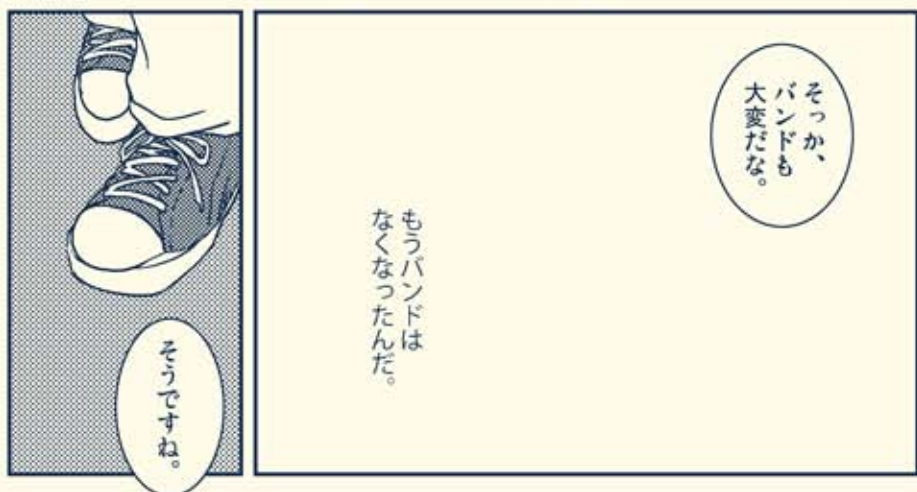




「岡田君のアタマの中には
綿でも詰まってるんじゃないの？」

ごめん





そもそも僕は
なんでバンドを
やってたんだろう



特に唄うのがきこえなくて何もなかったのに。

声高に吹聴できる不幸も
どうしても伝えたい何かも

僕にあったとは思えない。



おはよう
ございます。

今日は早出
ありがとうございます
ね！



今晚は
晴れる
らしいわよ。

よかった？
良かったって何だ。
僕は天気に
興味なんてない。

それは
よかった。

今度イベント
やっから
顔出してよ。

しんぞこ全てがどうでもいらい。

そうですね



どうでもいいけど
どうでもよくない

あー
ホーツと
するなあ...

あ、遠藤さん
早かったすね。



何かのために
怒ったり
笑ったり
浮かれたり

えんどー
さん？

遠藤さんは
楽しそう
だなあ

あ！
それも
いいですよ！



もう
時間です。

マシマシ！

なんか
いいこと
あったのかな

ずいぶん
たのしそ

はい、
入りませ







そいえば
遠藤さんに
彼女できた
みたいすよ

マジで！

あの自己中
受け入れれる
度量の広い
女が！

アハハハ



お、



こんなビルの
合間から
朝日とか
見えんのな。



僕はひとりで
夜を過ごすのが
こわいだけだ

オカター



ハイキの
弁当買って
きた

アハハ



もう発注
終わったんすか

よゆーよゆー



岡田さあ、

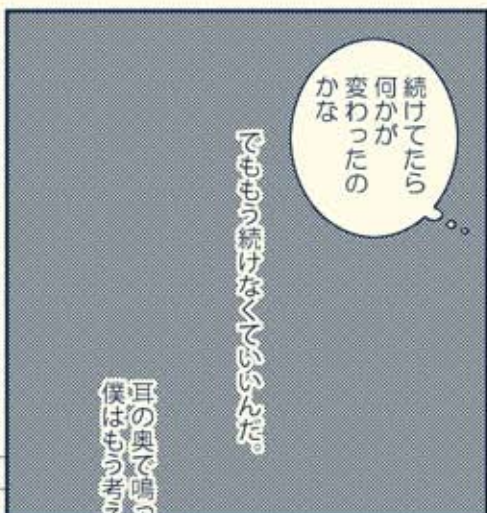
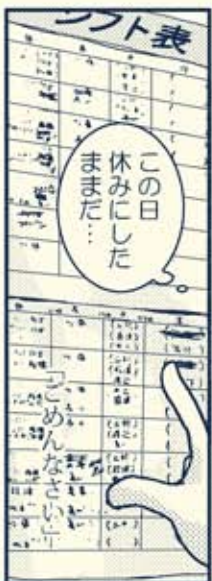
また
痩せてねえ？



そうですか？

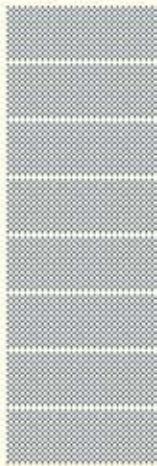
深夜動に
移ってから
痩せてる
気がする！

元から
ですよ





3





やー
お疲れー



来てたんだ？

いやもう
ガン見して
ましたよ



初めて
観たけど
いんじゃない？

あたしは
そうでも
なかったかな！

お



ジェロニモ
結構
よかったね！



スゲー！
カッコ
よかったっす！

マジで？
よかった



日常の些細なことを
どんだん笑いに昇華していく

かっさ
なあ



小さい頃は、
芸人になりたかった。



月日は経って

さーて
時間だよー

アイアイサー



おれは今
別の舞台で
マイクを握っている









ちよっとたのしい
エマージェンシー



名前も
知らない君と

おかしい連帯感。

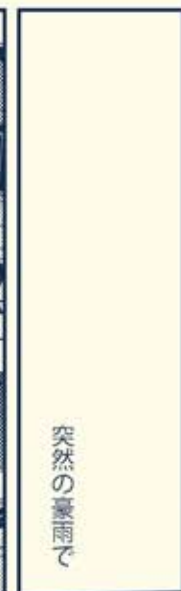


虹だ。



お店がまるで
シエルターみたい

フキンシン
だけど、



突然の豪雨で



よかったら
これ使って
ください

ありがとう

こりゃ
どうも



でもほんとの
緊急事態じゃない
エマージェンシー

いやあ
困りました
ねえ

ええ本当に

全然
困ってない
くせに



なんか
ちよっと
たのしい

エマージェンシー
エマージェンシー



それは君の
人生のささやかな大事件

いえいえ。

タオル
ありがとう
ございました



それじゃ
またね。



虹と云う名のささやかな幸福感が



そして
君の頭上にも彼の頭上にも



記録に残らないエマーゼンシー

これがリアル
じゃないなら、
なんだって
言うんだ。



初めて見た訳でもないのに



とりあえず
写メろうよ！



わーすごい
キレイに
撮れた！

あたしも
あたしも！

こりや帰ったら
ブログにアップ
しないと！

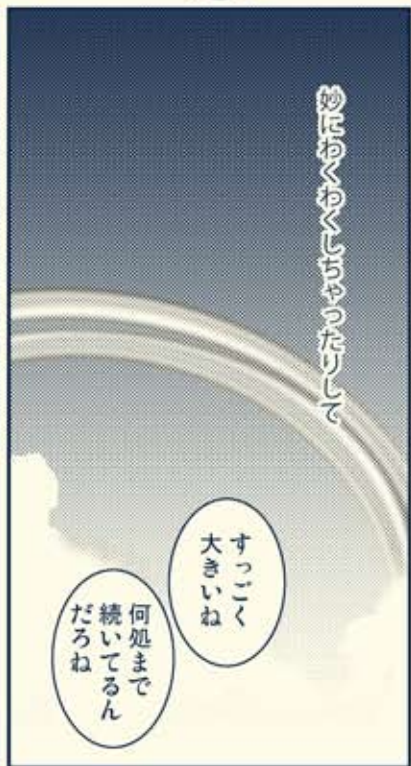


携帯でも
結構きれいに
撮れる
もんだね

そうですね



それは、



めだむくむくしちゃったりして

すっごく
大きいね

何処まで
続いているん
だろね

弱く薄くかぶり、
僕らを駆けていく



もう
消えそう



凄かった
わねえ

いいもん
見ましたね



アアやだ
わたしの
撮れない
じゃない!

アハハ

またきつと、
雨が降ったら
出ますよ



今度は撮れると
いいですね。

このたのしさを
今度はどんな言葉で
君たちに伝えよう

そのことがほんとうに愉しみなんだ





バンドを やってる 友だち。

2009年8月に出した「コンビニでバイトをしながら、バンドをやっている男子3人」の漫画です。

手元の在庫が残り数冊になったので、赤身レコーズで公開することにしました。この同人誌をお買い上げ頂いた皆様、ほんとにありがとうございました。今度またお菓子をあげます（ささやか）。

自身はコンビニでバイトをした経験がないため、コンビニバイト経験者の大沢四一ちゃんにこぼれ話を聞かせて貰ったり、資料写真を元勤務先でこっそり大量に撮ってきて貰ったりしました。めちゃくちゃお世話になりました。妄想より経験。

個人的に勝手にモデルに設定してロケハンしたコンビニの前を今でもたまに通るのですが、なんとも変な気分がします。勝手にごめんな…。つうか登場人物が誰かに似てたりするのとかもほんと勝手にごめんな…。という気分がいっぱい。同人誌だから、ということでひとつ赦してほしい。あと、絵がいまいちアレなのも漫画が稚拙で頭を抱えて爆発したいこの気分ももう全部時効ということにしてほしい。希望ばかりの人生です。

お読みいただきありがとうございました。

高野雀2012

